

◀ 2月 1日～15日の国内外外国為替市場動向 ▶

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/02/01 (木)	東京は円安は正関係の話題白押しで円買い優勢。しかし120円半ば以下のビット厚く下げ渋り。欧米は円買い先行ムードでスタートするもG7での円安議論を否定するようなコメント相次ぎ流れが反転。	・米上院議員が円安制裁法案提出 ・12月の米個人所得0.5%、同消費支出0.7%、同17PCE価格指数0.1%、同中古住宅販売成約指数4.9%、1月のISM製造業景気指数49.3	・渡辺財務官「G7で円安を議題に取り上げることはない」 ・米著名情報社が「G7で円安議論されず」のレポート送信の噂 ・一部報道「円安はネガティブではない」	120.75 120.91 120.10 120.82	157.25 157.47 156.59 157.33	寄付 安値 高値 終値
07/02/02 (金)	東京は夜半の米雇用統計発表をにらみ売り手控えムード。120円後半で小動き。欧米は発表された米雇用統計の当月分は悪化。しかし前月分の数値の上方修正を好感しドル買い進む。	・7ダグス米財務次官の辞任確定 ・1月の米失業率4.6%、同費農業者雇用数11.1万人、同シガタ大消費者信頼感指数96.9、12月の製造業受注2.4%	・米財務長官「円は開かれた市場で取引されているので心配していない」 ・ディンケル米下院エネルギー-商業委員長「日本は円相場を不当に操作」 ・一部報道「ECBは3月に利上げ実施後、金利は当面据え置き」	120.82 121.37 120.64 121.12	157.27 157.78 156.79 157.01	寄付 安値 高値 終値
07/02/05 (月)	東京は円安議論の早期NHK報道などもあり終始円買いが優勢ムード。クロスも円高傾向。欧米は円が伸び。円高を問題視する欧州からの要人発言などが続き円買いに拍車。	・ロンドンでのピクトリアストリートで爆発騒ぎ ・米著名情報社が「G7前は円キャリートレードに注意する必要がある」とのレポート送信の噂 ・1月のISM非製造業景気指数59	・NHKニュース「G7ではユーロ高・円安が討議される」 ・ルクセンブルグ首相「G7で円安が議題になることは間違いない」 ・伊首相「円安は深刻な問題」	121.00 121.07 120.24 120.34	156.83 156.86 155.47 155.59	寄付 安値 高値 終値
07/02/06 (火)	東京は引き続き円買いムード優勢。しかし120円手前ではOPの防戦ドル買いなども見られ、ドル下げ渋り。欧米は執拗な円買いに120円割れを一時示現。しかし米財務長官発言などもあり、その後は円小安い。	・12月の景気先行指数25.0%	・欧州G7筋「ユーロは対円などで過度の為替圧力を受けている」 ・米財務長官「円は自由で競争的な公開市場で取引されている」 ・米財務省高官「G7では通常通りに為替を協議」	120.21 120.58 119.96 120.10	155.46 156.19 155.27 155.94	寄付 安値 高値 終値
07/02/07 (水)	東京はやや円安。前日海外の流れを次ぎG7での円安議論ムードが後退、円売りへと繋がった。欧米で円は小幅続落。G7に絡む思惑に加え、NYタイムに報じられた日経WEB版が嫌気された。	・FT紙社説「日銀は介入すべき」 ・第4四半期米非農業部門労働生産性3.0% ・日経新聞WEB版「日銀は4～6月まで利上げ延期か」 ・1月の外貨準備高8953.83億ドル	・財務省幹部「世界経済動向で円安議論が出てくることは自然」 ・ミラ-独財務次官「円安が最重要議題とは言っていない」 ・FF連銀総裁「07年もインフレが引き続き主要な懸念」	120.07 120.82 120.03 120.68	155.91 157.25 155.84 157.04	寄付 安値 高値 終値
07/02/08 (木)	東京は引き続き円安。春、藤井両氏の発言も円売りに寄与となった。ドル/円は再び121円台へ。欧米はドル高もさることながらユーロ高。利上げは見送られたもののロシア中銀の発表などが好感された。	・12月の独貿易収支144億ユーロ ・BOEが政策金利据え置き ・ECBが政策金利を据え置き ・ロシア中銀が通貨バスケットの比率をユーロ45%へと引き上げ	・春日銀審議委員「利上げを急ぐ必要はない」 ・藤井財務次官「G7で円安が主要議題として取り上げることはない」 ・ECB総裁「強いインフレ警戒のコメントは全員一致の決定」	120.61 121.45 120.59 121.03	157.08 158.05 157.05 157.85	寄付 安値 高値 終値
07/02/09 (金)	東京はこの日もクロスを中心とした円売り優勢。機械受注の悪化も円売りの一因に。欧米は独財務相発言もあり円キャリートレードが再燃した感。とくに終盤にかけて円安進む。	・12月機械受注▲0.7% ・ルーマニアが政策金利を引き下げ ・ハイスFRB理事が3/30付けで辞任へ ・独でG7会合始まる(10日まで)	・独財務相「円安が独貿易に打撃とは思わず」 ・米財務長官「円の価値はファンダメンタルズに基づき市場が決める」 ・ダラス連銀総裁「追加利上げの可能性を除外せず」	121.15 121.75 121.06 121.73	157.96 158.38 157.56 158.32	寄付 安値 高値 終値
07/02/12 (月)	アジアはG7終了後の月曜と言うことで早朝から荒れ模様を展開が予想されたが東京休場もあり小動き。欧米はやや円安気味に推移するもいまひとつ盛り上がりず。ドル/円は122円に届かず上値も重い。	・週末G7で懸念されていた「円安問題」は声明に盛り込まれず。ただ終了後に仏財務相から「G7声明は行間を汲み取って読んで欲しい」との発言が聞かれるなど引き続き根強い円安懸念は示される	・米財務長官「強いドルは米国の国益、相場は市場が決める」 ・ECB総裁「一方向の見方に傾くことのリスクを認識してもらいたい」 ・独財務相「円が反発しなければさらに話し合いを行う必要あり」	121.85 122.05 121.59 121.94	158.64 158.91 157.56 158.11	寄付 安値 高値 終値
07/02/13 (火)	東京は円買い先行ムード。日銀利上げ観測に加え米債利金の円転思惑などが円買い材料に。欧米は円高というよりドル安。米貿易赤字が悪化したことに加え、やはり利金絡みの売りに押された。	・第4四半期独GDP0.9%、2月のZEW景況指数6.8 ・第4四半期ユーロ圏GDP0.9% ・12月の米貿易赤字▲612億ドル、対日▲74.5億ドル、対中190.0億ドル	・財務相「為替はファンダメンタルズを反映すべきで各国の理解を得た」 ・北朝鮮メディア「核施設閉鎖は一時的」 ・米財務長官「中国は人民元柔軟化に向けて速やかな対応必要」	121.78 121.78 121.09 121.17	157.83 158.08 157.28 157.98	寄付 安値 高値 終値
07/02/14 (水)	東京は引き続き金利売り思惑を受けて結果円高。米債だけでなくユーロ債についての大規模償還も噂に。欧米は期待されたFRB議長証言がハル派的な内容となったことを失望。ドルが一段安の展開に。	・12月の経常黒字1兆7768億円、同貿易黒字1兆2189億円 ・一部報道「アルカテラがカナダの石油施設を攻撃目標に」 ・1月の米小売売上高±0.0%	・福井日銀総裁「リスク要因が消えつつあると楽観的には思っていない」 ・BOE総裁「円安は日本の低金利が原因」 ・FRB議長「インフレ圧力は低下し始めた」	121.28 121.37 120.62 120.80	158.04 158.76 157.78 158.61	寄付 安値 高値 終値
07/02/15 (木)	東京は発表されたGDPが予想を大きく上回ったことを好感、追加利上げ観測の高まりもあり円買い進む。欧米は発表された米経済指標が全体に弱ドル売り材料。とくに対米証券投資の弱さが嫌気された。	・第4四半期GDP速報値年率4.8% ・1月の米鉱工業生産▲0.5%、同設備稼働率81.2%、12月対米証券投資156億ドルの買い越し、2月NY州製造業景況指数24.4、同FF連銀景気指数0.6	・独連銀総裁「キャリートレードが円安に繋がっているか不明確」 ・ECB総裁「為替の過度の変動は好ましくない」 ・FRB議長「インフレ高まれば利上げ必要」	120.30 120.38 119.17 119.27	158.05 158.08 156.65 156.73	寄付 安値 高値 終値

*ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで